

令和8年4月1日より 長野県上田高等学校は 教育課程特例校の指定を受けました



1 特別の教育課程の概要

(1) 新設教科・科目名

グローバルスタディーズ・GS情報（2年生2単位）

(2) 目標

探究的な見方や考え方を働かせ、教科横断的かつ総合的な学習を通して問いを立て、その解決のために課題を発見し、解決へ向けた道筋を組み立てる手法を学ぶ。これにより、自立的にウェルビーイングを実現できる資質・能力の育成を目指す。

また、「情報Ⅰ」において培う情報に対する科学的な見方や考え方を基盤とし、ICT技術を積極的に活用しながら課題を発見・解決する学習活動を展開することで、情報活用能力を高める。さらに、人間中心のデジタル社会（DX時代の社会）に主体的に参画するための資質・能力を身に付けることを目指す。

(3) 内容

1年次に習得した課題探究のプロセスに加え、「情報Ⅰ」で学んだ内容や生成AIをはじめとする先進的ICT技術を組み合わせ、実践的な学習を通して探究活動を深化させる。これにより、DX時代の社会における標準的な課題解決の手法を習得し、持続可能で包摂的な未来社会に主体的に貢献できる力を養う。

2 地域や学校の特色とその特色を活かして特別な教育課程を編成して教育を行う理由

(1) 学校の特色

本校は平成27年度から令和元年度までSGH指定校として、令和2年度から令和5年度まで文部科学省の「WWLコンソーシアム構築支援事業」におけるカリキュラム開発拠点校として取り組んできた。また、令和6年度からはDXハイスクールの指定を受けている。本取組は、イノベティブなグローバル人材の育成を目指すもので、本校ではSGHの時代から教育課程の特例を活用して、学校設定教科グローバルスタディーズを置き、国際的な学びと探究的な学びを柱として、生徒が主体的に学ぶカリキュラム開発を行ってきた。WWLの指定を受けてからは、信州WWLコンソーシアムの中核として、SGHで取り組んだ成果を長野県全域へ普及すべく取り組んできた。

(2) 特色を活かして特例の教育課程を編成して教育を行う理由

情報技術を最大限活用した探究（課題研究）、課題研究をフィールドとして展開するより実践的で探究的な「情報Ⅰ」とすることで、机上の学びから発展した学びの場を作り、イノベティブなグローバル人材としての資質・能力を総合的に養うため。

3 特別の教育課程を編成する際の各教科等の授業時数（教育課程表）

本校HPに記載の「令和7・8年度入学生教育課程表」をご覧ください。

（参考）特別の教育課程を編成する学校の一覧

文部科学省 研究開発学校制度・教育課程特例校・授業時数特例校制度
「教育課程特例校指定状況データベース」

URL：<https://curriculumdb.mext.go.jp/bc/tr/>

